

1年1組

「第2回 わくわくなかよし会」

12月19日に、第2回の幼保小交流会を行いました。今回の子どもたちのめあては、「年長さんともっと仲良くなる」「年長さんを笑顔にする」でした。

「あきとなかよし」の活動でドングリをたくさん拾い、拾ったドングリで「あきパークをつくろう」ということになりました。迷路やくじびき、的当て、ころがしゲーム、けん玉、こま、ロケットなどの遊びをつくり、年長さんと一緒に遊びました。

また、「年長さんを笑顔にする」ために、クリスマスカードをプレゼントしたり、年長さんがやりたい遊びを聞いて連れて行ったりするなど、相手意識をもって活動する姿が前回よりも見られ、成長を感じることができました。



1年2組

「ねんちょうさんとあきまつり！」

12月21日に、第2回の幼保小交流会を行いました。今回のメインの活動は、生活科で行った秋祭りを交流保育園の年長さんで行うことでした。

「秋の恵み」は季節が変わって楽しく遊べるから、楽しい生活科の学習を一緒にしたいという願いからでした。また、年長さんをびっくりさせたいと「手作りプレゼント」を心を込めて各自で制作しました。もっと仲良しになるために、ペア活動を入れたいと、前回リサーチした年長さんの好きな遊びをペア活動に取り入れて行っていました。

相手のことを考えてより良い活動を話し合っ
て実行し、仲間で協力する姿に成長を感じました。残りの月日、子ども達と成長をふり振り返る学習を行っていきます。



1年3組

「あきとなかよし」

9月頃、子どもたちが落ちている栗やイチョウの葉を朝の会でみんなに知らせたことをきっかけに、学校の中の秋見つけが始まりました。

学校の中や豊頭寺での秋見つけを繰り返し、マテバシイ、クヌギなどのドングリやイチョウの落ち葉などをたくさん拾ってきました。拾ってきたもので何かつくりたいという子どもたちの思いを実現するために、みんなで、ドングリに穴を開け、爪楊枝をさしたドングリごまをつくりました。他にも、やじろべえをつくる子どもたちがいました。秋のもので遊びをつくり出すことができることに気付いた子どもたちは、自由な発想でドングリ迷路やおみくじ、まとあて、落ち葉の魚釣りなど、たくさんの遊びをつくり出しました。1年2組や2年3組、年長さんに遊んでもらい、みんなで楽しみました。



1年4組

「あきが いっぱい」

10月に入ると、子ども達が登校する途中で落ち葉やドングリを見つけて拾ってくるようになりました。校庭にもスタジイやマテバシイの木があり、休み時間になるとドングリをたくさん拾っていました。イチョウやサクラの落ち葉がたくさん落ちていて「踏むとシャカシャカと音がするよ。秋は楽しいね。」と話していました。虫取り網をもってきて、カマキリやバッタをつかまえて大喜び。やすらぎ池でアキアカネも見つけました。朝夕気温が下がってくると、「落ち葉の色が黄色や赤に鮮やかになったよ。」と気づき、拾った葉っぱは何の葉っぱか図鑑を見て調べていました。

集めた秋のものを使って、工夫しておもちゃをつくり、2年4組さんと一緒に仲良く遊びました。

